

Build Happy Internet Life

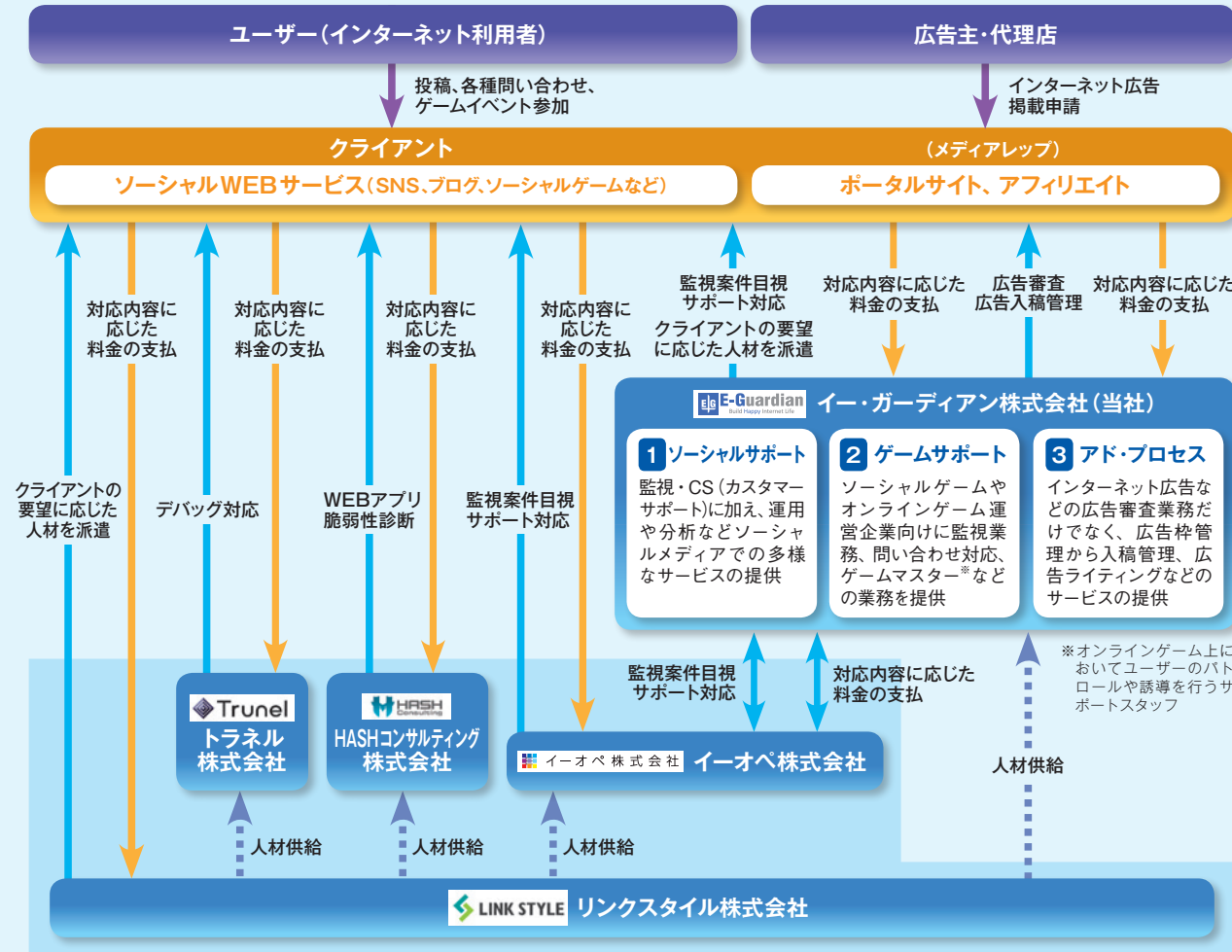
トップメッセージ | 高谷 康久

「総合ネットセキュリティ企業」
として

株主・投資家の皆様へ

E-G通信 第19期 第2四半期
2015年10月1日～2016年3月31日

すべてのインターネット利用者に安心・安全をベースに「楽しい」を提供します。



連結子会社

「リンクスタイル(株)」は2015年5月1日付で「(株)パワーブレイン」より商号変更いたしました。

700社を超える運用実績

- 株式会社 gumi
- ソネット・メディア・ネットワークス株式会社
- 株式会社バンダイナムコエンターテインメント
- グリーアドバタイジング株式会社
- ソフトバンク株式会社
- 楽天株式会社
- 株式会社シーイー・モバイル
- 株式会社ネットマーケティング
- 株式会社リクルートライフスタイル
- その他多数

インターネット関連市場の成長と積極的な事業展開により、大幅な増収増益を達成しました。

当社は、総合ネットセキュリティ企業を目指し、各分野でNo.1サービスの量産を目標に、事業拡大と収益性向上を追求してまいりました。スマートフォンやタブレット端末の普及を背景に、当社事業領域であるインターネット関連市場の成長が継続しており、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。その一方で、個人情報漏洩やアプリケーションの脆弱性を狙った攻撃などのセキュリティ侵害が深刻化しており、インターネットにおける安全性を求める声は一層高まりを見せています。当社は、従来国内で行っていた事業をさらに強化するとともに、海外においてもベネッセグループの(株)TMJとパートナーシップを締結し海外で高水準の運用サポートを提供するなど、さらなる飛躍を目指しています。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

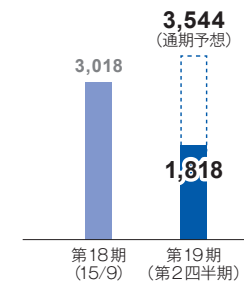


代表取締役社長
高谷 康久

業績ハイライト

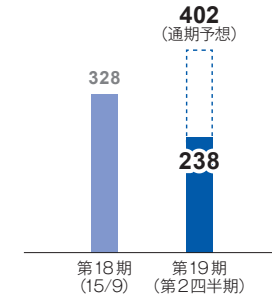
売上高

1,818百万円



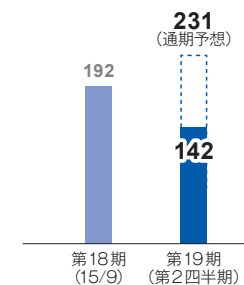
営業利益

238百万円



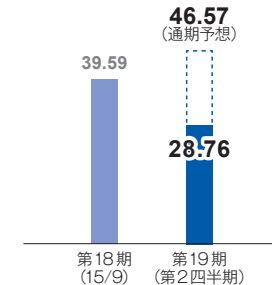
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

142百万円



1株当たり四半期(当期)純利益*

28.76円



Point グループシナジーが売上増加に寄与

特にゲームサポート分野において、デバッグ専門の当社子会社であるトラネル(株)の業績が伸び、売上増加に寄与しました。

*当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期(当期)純利益」を算定しております。

これまでの施策が結実し、

総合ネットセキュリティ企業

として大きく前進しています。

計画的に積み上げてきた施策が功を奏しつつあります。

おかげさまで、2016年9月期第2四半期決算でも、2月に上方修正した予想を上回る増収増益を実現できました。

これらは、当社がこれまで中長期的に準備してきた過去の施策の効果が表れてきたものでもあります。1つは、特定の顧客に過度に依存せず、安定収益・安定成長を実現できる体制を整えてきたことの成果です。2つ目は総合ネットセキュリティ企業として、ワンストップで一気通貫にサービスを提供できる体制が整ってきたことです。当社は、投稿監視から始まりましたが、M&Aや新規事業創出によって計画的に、あまりリスクを取らないで済む隣接分野に進出することで、この体制を準備してきました。こうした取り組みが功を奏し、その成果が結実しつつあるものと見ています。

4つの事業領域で堅実な発展を実現しています。

まずソーシャルサポートですが、市場の成長に着実に追従できています。特に当社はAI(人工知能)を活用した監視で他社に先行し、大きな差別化要因となっています。テキストの投稿監視については、人力だけでなくE-TridentによるAIを使った自動監視、および両者を複合したサービスが強みです。画像の監視でもAI型の自動画像認識システムであるROKA SOLUTIONの導入が拡大し、人とシステムによる監視を組み合わせることで、他社に大きく先行したサービスを提供しています。

ゲームサポートについては、この半期で最も伸びた領域です。市場の成長に加え、当社がすでに大きなシェアを有しているため、他社からのスイッチングを多く獲得できました。さらに、当社のデバッグ業務を集約し前期に創設したトラネル(株)の業績も伸びています。これは、ゲームの開発段階ではデバッグを、開発後はサポートを提供できるというシナジー効果によるものです。

アドプロセスも市場が成長しており、その中で当社は顧客企業へのスタッフの常駐派遣と、当社センターにおけるサービス提供を組み合わせることで、他社にはない差別化を実現しています。顧客企業内にフロントを開設できるメリットに加えて地方にある当社センターを活用することで、高品質なサービスを提供しつつ高い利益率の実現が可能となっています。

さらにサイバーセキュリティでは、子会社のHASHコンサルティング(株)とのシナジー効果が表れ、新規顧客獲得に加えて、既存顧客でも当社へのスイッチングが発生するようになりました。今後、フィンテックや仮想通貨などが普及するにつれて、ますますニーズが強まることは必至と見ています。

これら4事業領域が揃うことで、ワンストップのサービスが提供可能となり、シナジー効果として受注の拡大、顧客の深耕、効率的な営業が可能となりました。

次の成長に向かって2つの大きな布石を打っています

1つはソーシャルサポート分野で「WEBコンシェルジュチーム」を創設しました。現在コールセンター中心の顧客サービスが、WEBのチャットなどによるものへと置き換わっていく流れが生じています。日本でもおそらく10年後にはかなりの部分がそうなっていくと予測されています。当社のWEBコンシェルジュチームは、先行的にチャットサポートのサービスを開始します。この取り組みは、今後起こる大きな市場の変化で、先行者

利得につながると確信しています。

もう1つが、海外展開の強化です。マスターピース・グループ(株)と提携した中国での展開に続いて、新たにベネッセグループのコールセンター会社である(株)TMJと提携し、フィリピンでサービスを提供します。すでに当社から駐在員を送っていますが、(株)TMJの現地の豊富なスタッフを当社クオリティで育成し、高水準のメディア運用サポートを提供できるようにしてまいります。

時価総額の増大と東証一部を目標に前進します。

当社は時価総額の増大と東証一部への市場変更を目指して、慎重に次の成長のための仕込みを準備するとともに、必要な時には果敢に判断し行動するスピード経営を組み合わせ、着実な成長を追求してまいります。株主の皆様にはより一層のご支援をお願いいたします。

代表取締役社長
高谷 康久



WEBコンシェルジュチームを発足し、チャットサポートサービスの提供開始

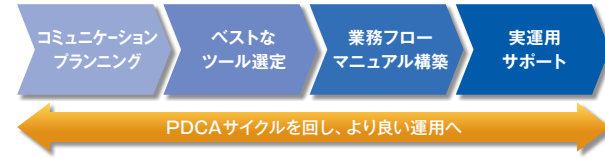
総務省発表の「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」によると、SNSの利用率は20代95.0%、30代82.6%、40代70.3%と高い数値が出ております。中でも若年層は、SNSや会話アプリなどを使用したリアルタイムなコミュニケーションが日常に溶け込んでおり、今後、ネットショッピングなどにおける接客に“SNS”“チャット”は欠かせないと考え、WEBコンシェルジュチームを発足いたしました。

WEBコンシェルジュチームは、カスタマーサービス部門のスタッフとソーシャルサポート部門のスタッフがタッグを組み、あらゆる業種・業界の企業様向けに“オンライン上の感動接客”に必要なビジネス支援を行う総合ソリューション部隊です。

本チームが今後最も注力していくのは、チーム発足と共に立ち上げた“チャットサポート”分野です。本分野は、昨今話題になっている「電力自由化」「マイナス金利によるローン借り換え」など高単価且つ、比較検証が必要な商材に最適な接客手法であり、これまで培った接客ノウハウを活かして、“攻めのチャットサポート”を提供してまいります。



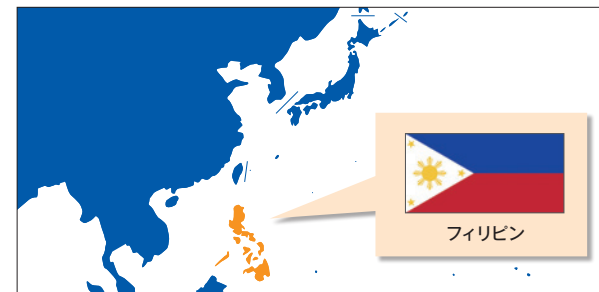
■「チャットサポート」サービス領域



ベネッセグループの(株)TMJとグローバル戦略的パートナーシップを締結

海外戦略においては、ベネッセグループの(株)TMJと戦略的パートナーシップを締結し、フィリピンにおいて当社社員が現地スタッフを直接教育いたします。日本国内で培った高品質のカスタマーサポート/脆弱性診断/デバッグ/投稿監視などのノウハウにより高水準のメディア運用サポートを実現し、日本企業の海外進出を支援するのはもちろん、現地法人へのサービス提供も見越した事業を展開してまいります。

また、フィリピンは若手IT人材が急速に増加し、プログラミング技術力は世界から注目を集めていることから、サイバーセキュリティ事業の重要拠点と捉えております。志の高い現地の優秀なIT技術者を集めることで、脆弱性診断などWebセキュリティを中心に、現地で採用/教育/サービス提供と完結させていく予定です。これにより、当社グループの総合ネットセキュリティ企業としての組織力をさらに強化してまいります。



会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998 (平成10) 年5月
資本金	34,005 万円
従業員数	連結723名 (うち契約社員数572名)
本社	〒106-0045 東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F TEL: 03-5575-2561 FAX: 03-5575-0621
センター所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京センター 〒106-0045 東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 6F TEL: 03-5575-2562 FAX: 03-6675-3030 ■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町 2-10-1 ふどうやビル 10F TEL: 042-847-3300 FAX: 042-847-3301 ■ 大阪センター 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 20F TEL: 06-6346-6080 FAX: 06-6346-6180 ■ 宮崎センター 〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東 4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL: 0985-42-7900 FAX: 0985-42-7901 ■ 熊本センター 〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井 2-2-35 熊電プラザビル1F TEL: 096-341-2525 FAX: 096-341-2526

関連会社

- イーオベ株式会社
- リンクスタイル株式会社
- トラネル株式会社
- HASH コンサルティング株式会社

事業内容

- ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング
- リアルタイム投稿監視業務
- ユーザーサポート業務
- オンラインゲームカスタマーサポート業務
- コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務
- コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務
- 人材派遣業務
- デバッグ業務
- サイバーセキュリティ関連業務

株式情報 (2016年3月31日現在)

株式の状況

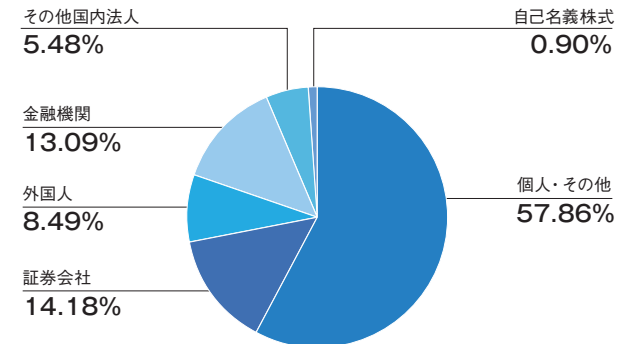
発行可能株式総数	16,200,000 株
発行済株式の総数 [うち自己株式 135,741 株*]	5,096,400 株
株主数	1,909 名

※期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式(平成28年9月期第2四半期90,000株)を含めて記載しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高谷 康久	555,900	10.91
松井証券株式会社	286,900	5.63
日本証券金融株式会社	276,100	5.42
日本マルチメディアサービス株式会社	181,500	3.56
株式会社SBI証券	173,400	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	164,900	3.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	110,000	2.16
楽天証券株式会社	108,100	2.12
永徳 克己	90,000	1.77
三井住友信託銀行株式会社(信託口)	90,000	1.77

所有者別株式数の分布状況



コラム Column

普及が期待される「フィンテック」

「フィンテック」とは、IT技術を活用した金融サービスを指し、ファイナンス (Finance) とテクノロジー (Technology) を組み合わせた造語である。欧米ではすでに多くのサービスがスタートしており、日本でも金融庁が法整備に取り組んでいる。一般消費者に関わるサービスとしては、SNSによる支払い・送金や、銀行明細、電子マネー履歴を活用した家計簿の自動作成など多岐にわたる。また、フィンテックの拡大には、情報流出の防止や確実な個人認証など信頼できるセキュリティが必須である。当社は、グループ会社のHASHコンサルティング(株)をはじめとした総合ネットセキュリティ企業としての強みを活かし、人々の安心・安全に貢献するとともに、グループの成長の好機として取り組んでいきたい。



ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧いただけます。

トップページ

<http://www.e-guardian.co.jp/>



株主・投資家情報

<http://www.e-guardian.co.jp/ir/>



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>

E-Guardian
Build Happy Internet Life

イー・ガーディアン株式会社

<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045

東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F

TEL:03-5575-2561 FAX:03-5575-0621

